



テーションする販路開拓の支援を行い、石垣ブランドのファン獲得に取り組みます。また、島内消費・移出・輸出等の各局面における関係者の各課題の把握と解消をコーディネートする地域商社機能の創出について戦略的に取り組んでまいります。

地域創生総合戦略における新たな人の流れの創出につきましては、石垣市立小・中学校において、地元出身や地域に根ざす教員を育てるため、平成28年度より教員採用試験対策事業を実施しております。これまで、延べ414名が対策講座を受講し、61名の合格者を輩出してきました。教育を担う人材の育成支援は、地元人材の流出を解消するほか、島外からの人材の流入や定着を促すことから、教員の人事交流の激しい本市において、学校教育の質の継続的な保証につながると考えております。令和2年度も引き続き教員採用試験対策講座の内容を充実させ、教育現場を担う人材の育成・定着に向け取り組んでまいります。

商店街及び商業に対する振興策につきましては、日本最南端の商店街であるユングレナモール及び周辺の店舗群は、本市の中心市街地として国内外からの観光客を迎える交流空間であり、観光消費を獲得する賑わい空間として本市の滞在魅力と回遊性の価値を発揮する重要かつ拠点的な地域です。しかし、中央通りと銀座通りの通行量に差があるなど、回遊性に乏しい課題が挙げられます。令和2年度は、回遊を促すデザイン機能、サインや情報発信等の視点から中心市街地の回遊性向上に取り組んでまいります。

農業振興につきましては、本市は独特の地理的環境を反映し、多岐にわたる農水産物が生産される一方で、生産量が比較的少量かつ台風等の自然条件による影響を受けやすく、収量や品質が不安定になりがちといった特徴があります。このような中、生産量の安定化や品質の高位平準化の取り組みにより、「作ったものを売る」から「売れるも

のを作る」という発想の転換とそれに即した販売及びプロモーション戦略の立案と実施が重要な課題です。令和2年度は、生産地石垣島と消費地東京をはじめとする都市圏を結ぶ販売ルートの確立と農水産物プロモーションを強化してまいります。

本市の基幹作物であるさとうきびの安定した生産振興を図るため、製糖工場の稼働力向上の支援事業と併せて、平成31年1月策定の「石垣市農業機械化等整備計画書」に基づき、共同利用の高性能農業機械（ハーベスター）を導入し、高齢化や担い手不足の課題解消、さとうきびの安定的増産かつ生産者の所得向上を支援してまいります。

糖度が高く食味が良い甘しよ品種「沖夢紫」は、栽培が難しいものの本市の気候風土に適合しており、青果物年間200トンの生産規模で、県内最大の産地です。今後更なる発展を目指し、農商工連携を図ってまいります。令和2年度は、青果物の東南アジア等への海外販路拡大戦略を打ち立てると同時に、沖夢紫菓子原料ペーストの製造、冷凍焼き芋、青果物の品質管理と安定供給を図るため、国の補助事業を活用し、洗浄・選果・適温管理貯蔵施設を整備してまいります。

鳥獣被害防止につきましては、さとうきびやパインなどの農作物が食い荒らされ、耕作意欲の低下が懸念されます。新たな取り組みとして、ICTを活用した「囲いわな」等の補助事業導入も含め、人と野生動物との棲み分けを推進する施策を展開してまいります。

農業基盤整備促進事業につきましては、新たに採択された地区であります栄第2、嘉手苜第2におきまして、区画整理や畑地かんがい施設の整備実施に向けて、測量設計調査を進めてまいります。国営土地改良事業と関連する事業の早期効果発現により、地域の特性を生かした農業経営及び農業所得の向上に寄与してまいります。

昨年1月、韓国で牛の口蹄疫が確認されました。

また、国内においてはCSF(豚熱)の患畜が確認され、今年1月には県内でも感染が確認されるなど、本市においては特定家畜伝染病の侵入するリスクが極めて高い状況が続いております。令和2年度も引き続き、石垣空港及び離島ターミナルで消毒マットを設置するなど、家畜伝染病の水際対策を図ってまいります。また、今後のCSFの防疫対応につきましては、沖縄県家畜保健衛生所、JA、生産者団体等と連携を図り、発生防止と生産者の経営安定に向けて、万全の対策を期してまいります。

酪農振興につきましては、八重山地域における安全・安心な牛乳・乳製品を安定的に提供するため、令和元年度はHACCPに基づく衛生管理の高度化に対応した新たな生乳加工施設を整備するための基本計画及び基本・実施設計を行いました。令和2年度は、施設整備に着手してまいります。

水産業の振興につきましては、石垣漁港内にある老朽化の著しい八重山漁協漁船保全施設(造船所)を、鳥島射撃場等周辺漁業用施設設置助成事業を活用し、改築整備の支援を行ってまいります。令和2年度は改築設計、令和3年度に改築工事に着手できるように支援してまいります。

製造業の振興につきましては、昭和53年に開館した石垣市伝統工芸館は、本市の伝統工芸品である八重山上布や八重山みんさー織の技術継承や振興の拠点として運営されてきました。また伝統的織物に使用される原材料、生産工程における各種技法及び歴史や社会との関わりについての展示紹介は、市民をはじめ観光客に対して本市の魅力や地域性を学ぶ貴重な創造的な機能を有する空間となっております。その機能強化を目的に、旧態化している展示方法や内容を時代ニーズや外国人観光客向けに再編集する一部リニューアルに令和2年度は取り組んでまいります。また、国の伝統的工芸品に指定される八重山上布・八重山みん